

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所

162-0805 東京都新宿区矢来町 65

電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175

発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「シャローム」

管区事務所総主事 司祭 エッセイ 矢萩新一

そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。(ヨハネ20:19)

5月17日、沖縄で辺野古への新基地建設に反対して35,000人もの県内外の人々が集い、いのちを守る訴えをしました。東京でも5月24日の聖霊降臨日に、15,000人の人々が国会議事堂を取り囲んで抗議をしました。首相官邸前に集まった私たちに、名護市長の稲嶺さんは、「皆さんの支援は沖縄の人に勇気と希望を与えるもので、今後も手を取り合って、辺野古に基地を造らせないう頑張っていきたい」と訴えました。そのとき、辺野古の座り込みテントで、聞いた言葉を思い出していました。「私たちは現場で基地建設を止める。あなたたちは本土で反対の声を上げて一緒にこの海とすべての人のいのちを守って欲しい」…。

また先日、神学校を出たばかりの方々と大阪で人権研修をしました。総会での部落差別発言問題やヘイトスピーチのこと、「従軍慰安婦」のことについて学びました。差別や偏見によって発せられる言葉や態度は、その人の命の尊厳を殺してしまうことです。多くの人にとっては気にもとまらない言葉であっても、当事者にとっては自分の存在が根底から否定されてしまう苦しみであることを再認識しました。その矛先は少数者・マイノリティーに向けられることが多いということを常に認識しておきたいと思えます。様々な情報が行き交う現代社会の中で、何が本当の事で、何を大切にしなければならないかということを見極めていく為に、私たちは聖霊の働きを求めていかなければなりません。

教会で政治的な課題を語りたくないと思われる方もおられるかも知れません。しかし、社会の様々な課題に無関心でいてもよいとイエスさまは語られたでしょうか。イエスさまはいつも、弱い立場に置かれた人々の傍らにおられたはずで、冒頭の聖句、復活のイエスさまが弟子たちに語られた「平和」＝「シャロー

□会議・プログラム等予定

(5月25日以降および
前回報告以降追加分)

5月

- 16日(土) 被災者支援センターしんち
感謝閉所礼拝と集い〔センターしんち〕
- 19日(火) 正義と平和・沖縄プロジェクト〔沖縄〕
- 23日(土) 「だいに東北」の2年 感謝聖餐式と集い〔東北教区
主教座聖堂〕
- 28日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕
- 28日(木) ～6月1日(月) 第4回韓国
社会宣教スタディーツアー
〔韓国・ソウル〕

6月

- 1日(月) 人権問題担当者会議〔管区
事務所〕
- 2日(火) ～3日(水) 宣教担当者の
集い〔日本聖公会センター
1Fホール〕
- 3日(水) ～5日(金) 主教会〔ナザ
レ修女会〕
- 12日(金) 外国人宣教師青山墓地清
掃・礼拝〔青山霊園〕
- 13日(土) 正義と平和・ジェンダープロ
ジェクト〔京都教区センター〕
- 15日(月) 女性の聖職に関わる特別委
員会〔管区事務所〕
- 15日(月) エキュメニズム委員会〔管区
事務所〕
- 20日(土) ～23日(火) 沖縄週間／沖
縄の旅
- 23日(火) 沖縄慰霊の日／戦後70年
主教会礼拝〔北谷諸魂教会〕
- 25日(木) 主事会議〔管区事務所〕
- 25日(木) 渉外主査会〔管区事務所〕
- 26日(金) ～27日(土) アジア青年大
会準備会／青年担当者会
〔名古屋学生青年センター〕
- 27日(土) 正義と平和・憲法プロジェク
ト編集作業会〔中部教区セ
ンター〕

(次頁へ続く)

▶ 6月12日(金) は宣教師逝去者記念
および墓地清掃のため、管区事務所の
通常業務はお休みいたします。よろしく
お願いいたします。

ム」は、当時のごくごくありふれた日常の挨拶の言葉です。一人ひとりの存在が大切にされ、一人ひとりのいのちが大切にされて「シャローム」と言葉を交わし合える関係を築いていきたいと思えます。

教会の誕生日である聖霊降臨日、ペンテコステの出来事の本質は、「みんな違って、みんないい」、「多様性の一致」を目指すところに、聖霊の働きがあるということではないでしょうか。違いを指摘し合うのではなく、違いを認め合う姿勢をキリスト者として大切にしていければすてきですね。

□常議員会

第61(定期)総会期第5回 4月21日(火)

<主な決議事項>

1. 首座主教海外出張に関して

6月26日(金)より7月7日(火)まで、米国聖公会第78定期総会およびロスアンジェルス教区の平和と和解協議会出席のための出張を承認した。

2. 総主事海外出張に関して

8月27日(木)より9月3日(木)まで、ダブリンにて開催される世界総主事会議出席のための出張を承認した。

3. 2014年度決算報告に関して

財政主事より2014年度の決算報告の詳細な説明を受け、これを承認した。

4. 第3回「マイノリティ問題と宣教」国際会議(2015年11月18日～21日)に関して

在日大韓基督教会より、上記国際会議の共催団体になって欲しい旨、また3名の参加者要請がある旨の報告を総主事より受け、これについて協議した。資金協力についての調査や「呼びかけ」文への意見などを、総主事より問い合わせることとした。

(前頁より)

7月

3日(金)～4日(土) 日韓聖公会青年セミナー準備会〔名古屋学生青年センター〕

8日(水) 財政主査会〔管区事務所〕

9日(木) 常議員会〔管区事務所〕

10日(金)～11日(土) 礼拝および礼拝音楽担当者会〔仙台基督教会〕

16日(木) 憲法法規委員会〔管区事務所〕

17日(金) 日韓協働プロジェクト会議〔管区事務所〕

19日(日)～20日(月) 聖公会女性フォーラム〔岡山〕

23日(木) 文書保管委員会〔管区事務所〕

27日(月) 第2回日本聖公会女性団体連絡協議会〔管区事務所〕

27日(月)～28日(火) 祈祷書改正準備委員会〔管区事務所〕

<関係諸団体等会議・他>

5月13日(水) NCC女性委員会〔管区事務所〕

20日(水) NCC女性委員会〔管区事務所〕

27日(水) NCC女性委員会〔管区事務所〕

28日(木) 日本キリスト教会館耐震工事起工式〔早稲田〕

6月8日(火) NCC女性委員会〔管区事務所〕

10日(水) NCC女性委員会〔管区事務所〕

11日(木) NCC役員会・常議員会〔聖公会センター1Fホール〕

17日(水) NCC女性委員会〔管区事務所〕

7月14日(火) 日本キリスト教連合会常任委員会〔カトリック会館〕

29日(水)～31日(金) 聖公会保育連盟大会〔神戸〕



次回以降の常議員会

7月9日(木)、9月17日(木)、11月25日(水) 17時～

□各教区

神戸

・広島平和礼拝 2015

テーマ:ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ。8月5日(水)・6日(木) 申込締切:7月7日(火) 内容:碑巡り、被爆証言と平和の主張、祈りのつどい、平和行進、原爆戦没者慰霊行事、広島原爆逝去者記念聖餐式、ほか。

問い合わせ:広島平和礼拝実行委員会事務局(広島復活教会) 広島平和礼拝ホームページ: <http://hpps.web9.jp>

九州

・被爆70年 長崎原爆記念礼拝(聖餐式)

テーマ:死の同心円から平和の同心円へ

8月9日(日) 10時半 内容:記念礼拝(聖餐式・長崎聖三一教会)、愛餐会、記念プログラム:集会(被爆証言)ほか。フィールドトリップ A.聖公会さるく B.被爆遺構めぐり、ほか。

問い合わせ:柴本孝夫司祭(長崎聖三一教会 Tel/Fax 095-823-0455)

《人事》

東北

執事 アタナシウス佐々木康一郎 2015年5月1日付 司祭ピリポ越山健蔵指導のもと、郡山聖ペテロ聖パウロ教会勤務を命じる。

北関東

ミカエル大山洋平 2015年4月1日付 日本聖公会聖職候補生に認可する。

横浜

聖職候補生 ミカエル北澤 洋 2015年5月16日 執事に按手される。

執事 ミカエル北澤 洋 2015年5月16日付 八日市場聖三一教会の牧師補に任命する。

大阪

司祭 アンデレ金 正 2015年5月1日付 米国聖公会ロスアンジェルス教区からの出向を受け、聖ルシヤ教会にて、司祭ペテロ竹林徑一のもと、副牧師として勤務することを命ずる。

プール学院にて、チャプレン補として勤務することを命ずる。ただし、勤務日は週3日で月・水・金曜日とする(大学・短期大学に2日、中学・高校に1日)。

司祭 ジョージ林 正樹 2015年5月1日付 病気療養のため、5月1日から7月31日の3か月間、職務を離れ休養することを命ずる。

司祭 クリストファー奥村貴充 2015年5月1日付 大阪聖パウロ教会牧師司祭ジョージ林正樹の休養期間中、同教会管理牧師に任命する。

管区事務所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日本聖公会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

日本聖公会の信徒・教役者・関係者のみなさま

日本聖公会法憲法規(2013年2月1日発行・第1刷への改訂箇所) についてのお知らせ

+主の平和がありますように

2014年5月に開催されました、日本聖公会第61(定期)総会におきまして、法憲法規の一部改正がありました。また誤植などの訂正も含め、今回は別紙の通り「日本聖公会法憲法規(2013年2月1日発行・第1刷への改訂箇所)」として、すでにお持ちの現行法憲法規に挟み込む形での発行をすることが法憲法規委員会で決められました。

つきましては大変お手数ですが、お持ちの2013年2月1日発行の法憲法規に別紙を挟み込むか、表紙や裏表紙の裏への貼付、転記していただくなどしてご使用くださいますようお願いいたします。

また、改正されたものかどうかの判断がつきにくいと思いますので、表紙や背表紙に「2014年一部改正」などと記しておくことをおすすめいたします。

管区のホームページ(<http://www.nskk.org/province/>)にも同じものをデータにして掲載しておりますので、ご活用ください。足りない分は、コピーしていただければ大変助かります。印刷したものが必要でしたら、管区事務所までお知らせください。

総会から1年以上経ってしまったことをお詫びしつつ、以上のことをよろしく願いたします。

2015年5月25日 日本聖公会 管区事務所
総主事 司祭 矢萩新一

日本聖公会法憲法規 (2013年2月1日発行・第1刷への改訂箇所)

【法憲法規の表紙や裏表紙の裏に貼付する等してご活用ください。】

- ※ (69頁) 日本聖公会教区主教選挙規則第14条の誤植を訂正
 第14条 (候補者の推薦・履歴の紹介、投票) 2行目および4行目
 第5条第2項→**第5条の2**
- ※ (71頁) 日本聖公会教区主教選挙候補者推薦管理委員規程第7条の誤植訂正
 第7条 (議場における主教選挙候補者の推薦) 2行目
 第5条第1項および第2項→**第5条の2**
- ※ (78頁) 日本聖公会総会細則改正履歴の最終行に追記
<2014年第61総会決議第5号改正>
- ※ (79頁) 日本聖公会総会細則第10条の一部改正
第10条 (議案および質問の提出者)
<2014年第61総会決議第5号 本条一部改正>
 主教議員、聖職代議員、信徒代議員、主教会、管区事務所、日本聖公会法規に定める**常任の委員および常設の委員会、ならびに**総会の設けた委員会は、議案を提出することができる。
 2 議員は、主教会、常議員会、管区事務所、**常任の委員、常設の委員会、**総会の設けた諸委員会に対する質問を提出することができる。
- ※ (90頁) 付則の最終行に追記
付則 この細則は、2014年開催の日本聖公会定期総会終了の時から施行する。
<2014年第61総会決議第5号>
- ※ (118頁) 日本聖公会法憲法規関連書式の訂正
 書式第16号 任命書 最終行
 「(教会名) 管理牧師に任命する。」
 →「(教会名) 管理牧師を委嘱 (に任命) する。」
- ※ (121頁・124頁) 添付書類から「戸籍抄本」削除 (2014/5/26 主教会確認) と番号繰り上げ
 書式第22号 聖職候補生志願書 および 書式第28号 伝道師志願書
<添付書類>— (一) 志願の要件に該当することを証明するもの
 (1) 履歴書 ~~(2) 戸籍抄本~~ (2) 高校以上の卒業証明書 (または高校卒業と同等の学力があることを証明するもの) (3) 所属教会の牧師および3分の2以上の教会委員の推薦書 (4) 健康診断書 (5) 志願理由書

日本聖公会法憲法規改訂箇所

2015年5月25日法規第103条の定めにより、

2013年2月1日発行・第1刷への改訂箇所につき祈祷書等検査委員検査済

管区事務所
〒162-0805
東京都新宿区矢来町65番
電話 (03)5228-3171
FAX (03)5228-3175

日本聖公会

NIPPON SEI KO KAI

PROVINCIAL OFFICE
65, Yarai-cho, Shinjuku-ku
Tokyo 162-0805, Japan
Tel. 81-3-5228-3171
Fax. 81-3-5228-3175

日本聖公会の信徒・教役者・関係者のみなさま

ネパール大地震被災者支援献金 のお願い

+主の平和がありますように

報道などですでにご承知のとおり、4月25日の午後、ネパールにおいてM7.8の巨大地震が発生し、カトマンズを中心に甚大な被害を及ぼしました。

犠牲者はこれまでに4,000人を超え、多くの住宅などが倒壊し、7,000人以上がけがをしたとの情報を得ています。エベレスト周辺ではこの地震による雪崩が起き、外国人を含む多くの登山者が巻き込まれました。被害はインドや中国のチベット自治区周辺国、バングラデシュなどにも広がっています。国連をはじめ多国の救助隊などによる懸命の救助活動が続けられていますし、ACTアライアンス(※1)もすでに現地に入り、水・食料・薬などの配布や避難所設置などの支援に取り組んでいます。

4月27日付で日本キリスト教協議会(NCC)は支援献金を呼びかけ、ACTアライアンスに送金して支援をします。日本聖公会も管区の主事会議において稟議し、ひとまず30万円を緊急災害援助資金から送金することを決め、被災者支援献金を全国に呼びかけることになりました。お送りいただいた献金は日本聖公会で取りまとめ、NCCを通してACTアライアンスへ送金する予定です。「バヌアツサイクロン被災者支援献金のお願い」をつい先日呼びかけたばかりですが、併せてお祈りとご支援をお願いいたします。

ネパールには東南アジア聖公会のシンガポール教区が宣教師を派遣して集会や様々な活動を行っているようです。ACTアライアンスから発信

された情報は、日本キリスト教協議会(NCC)のホームページに順次掲載される予定です。

日本聖公会の聖職・信徒・関係者のみなさまで、この趣旨に賛同くださる方は、「バヌアツ」と混同しないように「ネパール大地震被災者支援のため」等と明記の上、管区事務所へご送金ください。(併せて送金して下さっても結構です。)

なお、日本聖公会としての募金期間は10月31日(土)までといたします。

以上、どうぞよろしく願いいたします。

2015年4月28日 日本聖公会管区事務所
渉外主事 司祭 ポール・マイケル・トルハースト
総主事 司祭 矢萩新一



※今回の地震は、同国において、過去80年間で最も巨大な地震だとされています。写真は首都カトマンズのガルバル広場。

(写真：ACTアライアンスホームページより)

(※1)

ACTアライアンスとは…

(ACT : Action by Churches Together)

スイス・ジュネーブに本部を置く、プロテスタント・カトリック・ギリシャ正教の協力によるキリスト教系国際援助組織。自然災害や国家民族紛争による被害者に対し、民族・性・宗教・国籍・政治信条などに関わりなく必要な支援を行っ

ている。世界各国から130を超えるメンバー協会や関係団体が、140か国以上で専門家などの現状報告に基づき活動を行っている。日本キリスト教協議会(NCC)も正式加盟。

送金要領

- ①ゆうちょ銀行振替貯金：00120-0-78536
同封の郵便振替用紙をご利用ください。
- ②銀行振込：三菱東京UFJ銀行飯田橋支店(普) 4515547

※名義はいずれも「ニッポンセイコウカイ」です。
※「ネパール大地震被災者支援のため」等とご明記ください。

※郵便振替の場合はその受領証をもって、銀行振込の場合はその振込控えをもって領収書に替えさせていただきます。別に受領書を必要とされる場合はお申し出ください。

※銀行振込またはゆうちょ銀行の電信振替をご利用の場合は、送金内容を管区事務所までお知らせください。

各教区主教さま、教区事務所御中
日本聖公会の信徒・教役者・関係者のみなさま

ネパール大地震被災者支援献金のお願い

【追加情報】

+主の平和がありますように

4月28日付で、「ネパール大震災被災者支援献金のお願い」を送付させていただきましたが、その翌日の4月29日付けで、ネパールを管轄する東南アジア聖公会のシンガポール教区が募金を開始したとの情報を得ました。

シンガポール教区のACROSS(Anglican Crisis Relief, Outreach and Support, Singapore)という災害支援と開発支援をする組織で、東日本大震災の際には、多額の支援献金を頂いた経緯もあります。詳細(英文ですが)については、

http://www.anglican.org.sg/index.php/news/item/nepal_earthquake

<http://www.across.org.sg/eventdesc.php?id=5>

をご参照ください。

先にご案内いたしました、ACTアライアンス(NCCを通じて)も、シンガポール教区もどちら

も信頼のある送付先です。

管区の主事会議で稟議しました結果、どちらも献金先としてふさわしいということで、ひとまずシンガポール教区に20万円を送金し、「支援献金」については、お献げくださる方に送付先の判断をお任せすることにいたしました。

つきましては、管区へ送金くださる際に、「ネパール大震災被災者支援献金(ACT・NCC)」あるいは「ネパール大震災被災者支援献金(シンガポール教区・ACROSS)」など、お献げ先がわかるように、明記していただければ幸いです。

記載のない場合は、双方に50%ずつと判断させていただきます。

少しでも早く動き出そうとしたことで、追加のお願いをさせていただくことになり、大変申し訳ございません。

「ネパール大震災被災者支援献金」については、2つのお献げ先があることをご理解いただき、みなさまにお伝えくだされば幸いです。送付先は管区事務所でも変更はございません。どうぞよろしく願いいたします。

日本聖公会

渉外主事 司祭 ポール・マイケル・トルハースト
管区事務所総主事 司祭 矢萩新一

「祈祷書改正に関するアンケート」について

各教区教会・礼拝堂のみなさま、教役者のみなさま

昨年5月の日本聖公会第61(定期)総会において、「祈祷書改正準備委員会」が管区に設置され(決議第22号)、次回2016年の総会で報告できるように、将来の祈祷書の基本方針、基本的課題を明らかにする作業を進めています。

この作業の中で、各教区におられる祈祷書モニターの方々を通して、みなさまのご意見やご希望をお聞きすべく、「祈祷書改正に関するアンケート」を実施いたします。具体的には、各教会へ送付されるアンケートをもとに個人や教会委員会の意見を教役者が集め、各教区の祈祷書モニターの方に集約をしていただき「準備委員会」のもとへ集めていただきます。もう一つの方法として、各施設や学校関係者の方をはじめ、個人の方から直接「準備委員会」へお送りいただけるようにいたします。短期間で大変申し訳ございませんが、作業の関係上、締め切りは7月8日(水)とさせていただきます。各教区事務所、各祈祷書モニターの方へはデータでも送付いたしますし、管区のホームページでもダウンロードできるようにしておきますので、メールなどをご活用いただき、できるだけデータでの集約作業にご協力いただければ幸いです。よろしく願いいたします。

祈祷書改正準備委員会
委員長 司祭 相澤牧人

日本聖公会青年委員会の活動と課題

—最近の諸活動と、これから—

日本聖公会青年委員会

委員長 司祭 小林 聡

私が直接青年委員会の存在を知ったのは1992年の全国青年大会の時でした。当時私は神学生でしたが、青年大会事務局長の役割をさせて頂き、色々なことを学ばせて頂きました。大会を準備する中でいろいろな方々からの支援を知り、沢山ある聖公会の活動に触れることも学びでしたし、リソースパーソン(リソースパーソン)の豊富さも、聖公会の凄さを感じたことでした。青年委員会の役割は、基本的に青年の出会いと学び、活動の機会をふんだんに提供することであり、その為に継続して以下のことを行なってきました。

11教区に青年担当者を置いて頂き、年2回情報交換の場を持つ。日韓青年セミナーを開催

し、歴史を、痛みを負わされた人々の声に耳を傾けることを通して学ぶ。4年に一度全国青年大会をする。U26(26歳以下の青年有志の集まり、ユージロー)を応援する。今のように有機的に青年担当者や青年が交わり、企画できるようになるまでに20年以上の継続した取組が行われてきたように思います。又、世界の聖公会青年ネットワークやランベス会議等への青年スチュワード派遣、各協議会やWCC等への青年スチュワード派遣は継続的になされてきましたし、何よりその経験の受け皿が、以前よりも充実してきているように思います。今後10年のイメージは、今の10代、20代、30代が国際的な交流と学びの経験

をして、創造的な発想で、豊かな関係と平和を構築していってほしいということです。

今年8月の日韓青年セミナーは初めて中国を舞台に、歴史を学びます。そして、東北アジアの平和を模索する為に、朝鮮民主主義人民共和国にある、かねてより繋がりのある病院の支援を両聖公会で行うというものです。又来年全国青年大会を北海道で開催する予定にしており、U26と青年委員会が協力しながら準備をする予定です。そして更に来年は聖公会アジア青年大会が西マレーシアを会場に初めて開催されます。これは、単なる一回きりの交わりではなく、継続したネットワーク作りと、東アジアにおける聖公会青年としての課題を担っていかうとする、強力なモチベーションのもとに行われる取組みです。

私は青年達がすでにソーシャルネットワーク等を使いながら、新しい発想で自分達で交流していると思います。ですので出来るだけ、青年達が自由に、のびのびと企画実行していくために、委ねていきたいと思っています。失敗や挫折はあると思います。しかし、経験は無駄にはなりません。

最後になりましたが、青年委員会は2011年3月11日以降、東日本大震災で痛みを負われた方々といっしょに歩きたいと、その活動の視点を、だいに東北といっしょに歩こうに置いています。そしてそれは、日韓青年セミナーや北海道での青年大会、アジア青年大会でも変わりません。どうか、このような青年委員会の働きをご理解いただき、お祈りとご支援をお願いいたします。



2014年、仙台での日韓青年セミナー

2015年国連女性の地位委員会に出席して

東京教区 司祭 笹森 田鶴

3月9日～20日、第59回国連女性の地位委員会がニューヨーク国連本部で開催されました。並行してNGOフォーラムも行われ、9千人の女性たちが世界中から集まりました。今年には1995年に開催された第4回世界女性会議（北京女性会議）から20年目にあたり、女性のエンパワーメント実現のための北京行動綱領に関する各国の実施状況や評価、男女平等に向けての新しい課題や目標設定が主なテーマでした。聖公会中央協議会（ACC）は代表団をこの会議に派遣しており、日本聖公会からは毎年2名がその代表団に加わっています。今年には更に1名多く、池住圭さん（原発と放射能に関する特別問題プロジェクト事務長）、福澤真紀子さん（5月末まで「だいに・東北」スタッフ）、私の3名でした。



各国のカントリーレポート・IAWN 会議
IAWN(International Anglican Women's Network)

各国の女性たちの現状が様々なイベントを通して分かち合わせ、またジェンダー平等のための活動展開の学びの機会も与えられました。加えて国連日本政府代表団との2回のブリーフィングへの参加、また聖公会の女性たちとの会合では、福澤真紀子さんが国別レポートを、また池住圭さんが福島第一原発事故後の福島に住む人々、ことに女性たちの苦難の声を届けるという重役を果たしてくださいました。聖公会の女性た

ちによる今年の声明文の中に、福島の女性たちの声を聴き続け、祈り続けることの重要性が明確に言及されることとなったのも、お二方の情熱を傾けたお働きの故です。

聖公会派遣代表団によるACCへの声明文では、この度次のことを教会の重要課題として挙げています。1. ジェンダーに起因する暴力の撤廃、2. 気候変化に伴い、環境保護のためのあらゆる政策実施、3. 人身売買と奴隷制度の撤廃、4. こどもの無国籍と出生登録のないことから公的な不利益を被らないための政策・励まし、5. 女性の参加、特に教育、経済面での参加、意思決定への参加、健康にかかわる主導権に関するジェンダー平等の実行、これらの5点です。

この重要課題の解決のために、教育、被害者への支援、教会の社会参加が求められています。また神の似姿を歪めることに教会が加担することなく、本会議で提唱された「プラネット50-50 2030年までに平等な地球社会」キャンペーンに積極的に参与することを勧めています。教会のあらゆるレベルの意思決定とリーダーシップに女性が完全に含まれていること、地球の資源を注意深く管理すること、すべての形態の暴力を完全に許容しないことによって、教会がその使命を果たすことができることを確信します。



聖公会の姉妹たち

この度の派遣のためにご加禱・ご協力くださったすべての方々に、この紙面をお借りして感謝を申し上げます。来年は日本がイベントを主

催して福島の女性たちの声を世界に届けるために、準備を行っていきます。ますますのご加禱をお願いいたします。

ヒルダ・ミッシェル文庫の創設

《東京教区聖ミカエル教会》

— 希望者に図書を贈呈します —

渋谷聖ミカエル教会は当教会信徒のヒルダ後藤八重子姉、ミッシェル後藤(菊池)みつゑ姉の両姉妹からの多額の遺産を遺贈されました。教会としてはお二人が教育者であられ、若い人の育成に生涯を捧げられたことに鑑み、教会の働き人を育成するための活動、特に若い人を育てる活動に使わせて頂くことが適当であろうと、この「ヒルダ・ミッシェル文庫」の創設を決めました。この働きは日本聖公会の聖職・信徒(特に聖職志願者)を対象として、欲しくても手にすることができない必要な図書を現物で贈るという働きであります。毎年希望者を募り、適正な申請と認められたものは当方で希望書籍を購入し、書籍現物を申請者に寄贈します。

【申請資格】 教会での奉仕を志す日本聖公会の信徒(求道者も含む)・聖職志願者・聖職で、特に聖職等の奉仕職を志す方を優先します。

【申請条件】 献本の内容は、キリスト教関係書籍あるいは奉仕者としての勉強・研究に必要な不可欠な書籍等とする。ただし、説教集は対象外とさせていただきます。

・献本は、個人に対しておこない、1名が申請できる単価は1万円以上(税込)、上限は15万円(税込)の本1冊とする。ただし、全集・上下巻セット等は1冊と見なす。
・書籍の他、CD、DVD、ビデオテープ等

のメディア媒体も申請可能とする。但し、電子辞典類は不可。

【留意事項】 希望書籍等に関する情報は、申請者が責任を持って調べること(曖昧な申請情報は判定困難なため)。

・書名(巻、号数も記入)、著者名、出版社名、定価を正確に記入すること。

・CD・DVD等はコード番号を必ず記入すること(同名タイトルで複数の作品が存在するため)。

・年度内に入手可能なものに限る(再版待ち等は採用しない場合がある)。

・海外輸入品やCD、DVD、ビデオテープ等は入手に時間を要する場合がある。

【応募方法】 所定の申請用紙に必要事項を記入し、下記まで郵送するかFAXする。申請用紙は1件につき、1枚作成のこと。

・提出先 渋谷聖公会聖ミカエル教会内
ヒルダ・ミッシェル文庫係宛

・申請締切 2015年6月30日(火)まで
消印又は受信情報で確認

【選考方法】 年間予算200万円の範囲で、ヒルダ・ミッシェル文庫選考委員会が採用者を決定する。

【採用の発表】 応募者には書物等の発送をもって発表に代える。なお配本は8月下旬より順次行う。

【問い合わせ】 連絡先を記入の上FAXにて渋谷聖公会聖ミカエル教会ヒルダ・ミッシェル文庫係まで

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 2-1-7

TEL03-3409-2079 FAX03-3409-2938

日本聖公会東京教区渋谷聖公会聖ミカエル教会

再録

京都教区報「つ乃ぶえ」
2015年5月 (674号)

沖縄の痛み

(略) 沖縄ではいま、平和と民主主義を守る闘いが、北部の辺野古で展開されています。

日米合意によって、宜野湾市の市街地にある普天間基地を名護市に移設するために、新たな基地建設がすすめられているのです。しかも、それは名護市長選、県知事選、衆院議員選の3つの選挙で争点となり、いずれの選挙でも辺野古基地建設反対の候補が勝利し、沖縄県民の「民意」は「基地建設ノー」を表明しました。にもかかわらず、政府は「民意」を無視して、基地建設を強行しているのです。

沖縄はいま「怒っています」。3度も県民の「民意」が政府によって無視されているからです。(略)

世論調査をすると、沖縄では辺野古移設への

反対が常に7～8割を占め、「オール沖縄」が反対です。ところが、政府はこれを無視し続けています。現在、辺野古では杭打ち阻止のため、一般県民による阻止行動が展開され、作業を警護する海上保安庁の保安官や機動隊と連日衝突を繰り返し、逮捕者と怪我がでるなど、状況は緊迫化しています。しかし、こうした事実は全国ではほとんど報じられていません。そればかりか本土各新聞社の世論調査で、全国では賛成が反対を上回ることもあります。このように見ますと、新たに基地を造るという沖縄への新たな犠牲の強要は、政府だけでなく日本全体の「見て見ぬふり」に由来すると言え、言い過ぎでしょうか。決して、「見て見ぬふり」ではなく、沖縄でいま、何が起きているのかをしっかりと凝視してほしいと沖縄の人たちは願っています。

それが「沖縄の痛み、を知ることとなり、日本の今を知ることになると思います。沖縄からは日本の今がよく見えます。

(沖縄教区・島袋諸聖徒教会 真喜屋 明)

沖縄週間の祈り

2015年6月21日(日)～6月27日(土)

歴史と生命の主である神よ、私たちが平和の器にしてください。
嘆きと苦しみのただ中にあなたの光を、
敵意と憎しみのただ中にあなたの愛と救しをお与えください。
私たちの出会いを通して悲しみの中に慰めを、痛みの中に癒しを、
疑いの中にあなたへの信仰を、主よ豊かに注ぎ込んでください。
この沖縄週間を通して私たちに新たに、
あなたの示される解放と平和への道を歩む者としてください。
私たちの主イエス・キリストのいつくしみによって、
このお祈りをお献げいたします。 アーメン

沖縄週間は日本聖公会の全教区・教会が沖縄の復興に思いを寄せ、主の平和を求めて祈ることを目的とするものです。2015年は戦後70年の節目の年です。日本聖公会の全教区・教会が主の平和を求めて祈ることに共に参加を促します。

沖縄戦から70年
1945.8.28～
2015.6.28

※1945年8月28日は沖縄に対する空襲が始まった日です

命どう宝
～いのちより他のものを優先する
社会に「否」を言う～

キリストの平和があたがたの心を支配するようにしないで、
- コロサイの信徒への手紙 3:15 -

2015年沖縄週間/沖縄の祭は6月20日(土)～23日(火)に行われます。

主催 日本聖公会 沖縄教区
日本聖公会 正義と平和委員会

沖縄週間
二〇一五年六月二一日日
六月二七日土

日本聖公会管区事務所ホームページ: <http://www.nskk.org/province/>
☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメールでお寄せください。